

# ◆自転車安全整備技能検定講習会◆

担当: 広報部 赤塚(菊池・大津支部 サイクルショップあかつか)

第一種TSマーク  
(青色マーク)



第二種TSマーク  
(赤色マーク)



自転車安全整備店の章



財団法人日本交通管理技術協会が実施する「自転車安全整備技能検定」が、今年度も九州地区にて開催されます。日程は、8月19日(木)福岡市博多区のアクション福岡。

試験内容は、スポーツタイプ自転車の分解および組み立ての『実技試験』。「自転車技士」「自転車安全整備士」の『学科試験』があり、面接試験もある。

試験は年々難しくなっており、昨年度は全国で2067名が受験し1456名が合格し合格率は 80.8%。九州地区は、146名中118名が合格し合格率は 70.4%だった。当組合からも毎年受験者がいて、昨年度は光商会(宇土市)の松落さんが受験し見事合格している。

今年度は、当組合熊本支部より3名が受験予定。これに伴い、当組合では受験者向けの講習会を開催します。7/16(金)7/28(水)8月初旬の合計3回にわたって行う講習会に、今回受験予定の3名と阿蘇支部より次回受験予定の1名が加わり4名が講習会に参加されます。講習会全般を広報部にて担当し、昨年を引き続き熊本支部の鎗さん岩永さんの2名が講師として、ほかに2名が補助員として携わる予定です。

講習会の時間は、いずれも19時から22時までで自転車会館(熊本市練兵町)ですので、見学されたい方は気軽にお越しくださいませ。

熊本市内の高校では、自転車通学時にTSマークが必要な場合が大半です。これは、長年にわたり熊本支部が取り組んできた活動の結果であり、TSマークの貼付枚数で表彰も受けております。一方で、今年は八代地区でTSマークの貼付数が大幅に伸びております。

地味な活動が徐々に県下一円に、良い意味で飛び火しているようです。

TSマークは、自転車安全整備店に申請し登録された事業所で、自転車安全整備士の資格を持った者しか貼付できません。お店の後継者の方などで、まだ資格をお持ちでない方がおられましたら、1年でも早く受験され資格を修得されることをお勧めいたします。

試験に関する質問等は、組合事務所までお問い合わせください。

## 組合シールを活用しよう!!

ホームセンター等の低価格車の販売に加え、大手チェーン店の進出。あるいはショッピングモールでの自転車専門コーナーの充実など、我々専門店にとっては厳しい状況が続きます。

そこで、これまで熊本支部にて活用されておりました「組合シール」の利用を県下一円にて取り組むことに決まりました。

これは、県下220店以上におよぶ組合加盟店が一丸となり活動に協力することで、きっと専門店の未来に明るい灯がともる(販路拡大につながる)と信じます。

たとえば、シールが貼られた自転車を修理等で来店された時のお客さんへの対応として『お客さん、よか自転車に乗るとんなはるですね! おまけにこのシールの貼ってあるけん、よか店で買うとんなはる。』という具合。あるいは、『このシール(マーク)は組合加盟店の証。』『①空気ばサービスで入れておきますね。』『②チェーンに油ば無料でさしておきますね。』などの、これといった

お金の掛かるサービスは必要としません。一言運動を繰り広げてください。値引きするでもなく褒めてあげることで、お客さんも気分良く、販売店の株も上がるし、他店の悪口どころか褒め言葉により印象が良くなり、お店のイメージアップにつながります。他店の悪口を言うのは店にとってはマイナスです。自分が言っているとすれば他店も言っているはず。しかも、組合加盟店の同業者の悪口となれば、・・・。よその店を褒めるのとけなすのとでは、お客さんの印象はどうでしょうか?

今の時代、量販店に対抗するのに、専門店同士の足の引っ張り合いをやっている状況ではないはず。地味な活動こそが、専門店の身上であり、横のつながり(組合)が強みなのです。

